

## 【登壇者略歴】

ロバート・マートン Robert C. Merton

マサチューセッツ工科大学スローン・スクール・オブ・マネジメント特別教授/ハーバード大学名誉教授  
/Dimensional Holdings Inc. レジデント・サイエンティスト

ロバート・マートン博士はコロンビア大学にてエンジニアリング数学学士号を、カリフォルニア工科大学にて応用数学修士号を取得後、経済学に転身。マサチューセッツ工科大学（MIT）にてPhDを取得。その後MITスローン・ビジネススクールにおいて、フィッシャー・ブラックとマイロン・ショールズが開発したブラック・ショールズ方程式の数学的証明で、金融派生商品の価値を決定する新メソッドを考案した功績を称えられ、1997年アルフレッド・ノーベル記念経済学スウェーデン国立銀行賞を受賞。ファイナンス理論、特に多期間最適ポートフォリオ、資産価格理論、デリバティブ価格理論などの分野における世界的権威の一人である。

本多 俊毅 Honda Toshiki

一橋大学大学院国際企業戦略研究科教授/日本ファイナンス学会会長

横浜国立大学経済学部助教授、一橋大学大学院国際企業戦略研究科助教授を経て、2012年から現職。現在、一橋大学大学院国際企業戦略研究科で教鞭を取るとともに、2016年からは日本ファイナンス学会会長を務めている。投資、ポートフォリオ管理、資産価格などの諸問題に関する著作は多数あり、主要著作は“Optimal Portfolio Choice for Unobservable Regime-Switching Mean Returns”, Journal of Economic Dynamics and Control、“Dynamic Optimal Pension Fund Portfolios when Risk Preferences are Heterogeneous among Pension Participants”, International Review of Finance 等。

デヴィッド・ブース David G. Booth

ディメンショナルファンドアドバイザーズ創業者 エグゼクティブ・チェアマン/シカゴ大学理事

Dimensional Fund Advisors の創業者、エグゼクティブ・チェアマンであり、ブース氏の名を冠したシカゴ大学ブース・スクール・オブ・ビジネスのビジネスアドバイス評議会終身メンバーである。現在は米投信協会（ICI）理事会の一員で、同執行委員会主要メンバーの一人。ユージン・F・ファーマ教授との共同論文「Diversification Returns and Asset Management」をはじめ、執筆論文は多数あり、2010年にはInvestmentNews誌により、金融サービス業界の「実力者20人」の一人に選ばれている。

**大久保良夫 Okubo Yoshio**

**一般社団法人 投資信託協会 副会長専務理事**

1974年東京大学経済学部卒業後、大蔵省入省。その後、主として国際金融や国際的金融規制等の仕事に従事しました。1998年大臣官房参事官、副財務官。2000年金融庁国際担当参事官、2002年金融庁総務企画局審議官、東京証券取引所監理官。2004年公認会計士・監査審査会事務局長兼務。2004年6月から2006年6月、世界銀行理事。2006年国際交流基金理事。2008年から2015年日本証券業協会専務理事、副会長を務める。2015年6月30日より現職。

**油布 志行 Yufu Motoyuki**

**総務企画局 参事官(総合政策・資産運用担当)**

平成元年、大蔵省入省。平成16年～20年、OECD（経済開発協力機構）に派遣され、国際公務員として勤務（プリンシパル・アドミニストレーター）。「OECD コーポレートガバナンス原則」を所管する部局において、アジア新興市場国等を対象に、企業統治改善に向けた啓発・支援プロジェクトを担当。平成24年～25年、金融庁総務企画局総合政策室長し、NISAの導入を担当。平成25年～27年、金融庁総務企画局企業開示課長。「日本版スチュワードシップコード」「コーポレートガバナンス・コード」の策定にあたり、それぞれの有識者会議の事務局を務める。平成27年から、金融庁総務企画局参事官（総合政策・資産運用担当）。つみたてNISAの導入をはじめ、金融庁の主要な政策の方針決定に携わる。東京大学法学部卒業、コロンビア大学MIA(国際関係論修士)。

**植田 和男 Ueda Kazuo**

**東京大学金融教育センター センター長**

マサチューセッツ工科大学博士課程卒業（Ph.D.）。ブリティッシュコロンビア大学経済学部助教授などを経て、東京大学大学院経済学研究科教授（～2016年）。2017年現在東京大学金融教育研究センター（CARF）センター長。

**植田健一 Ueda Kenichi**

**東京大学大学院経済学研究科 准教授**

シカゴ大学で経済学博士課程卒業(Ph. D)。その後、国際通貨基金勤務。2011年～12年、マサチューセッツ工科大学経済学部客員研究員。2014年より現職。政策ビジョン研究センターグローバル経済リスクの分析と政策研究ユニット長。その他、関税・外国為替等審議会委員などを務める。研究テーマは金融システムとマクロ経済の相互関連で、Review of Economic Studies や Journal of Economic Theory などの学術雑誌に論文が掲載されている。